

2018年度 学校評価アンケート 集計一覧表

番号	文科省ガイドラインおよび独自項目	分類記号	ポイント	回答者	質問文言	平均	
1	教育課程・学習指導 (教務)	01-A	建学の精神の理解・浸透	生徒	建学の精神の意味が分かって生活していると思う。	2.7	
				保護者	学校では建学の精神が理解され、浸透している。	3.0	
				教職員	学校全体に建学の精神が理解され、浸透している。	2.1	
		01-B	三つの芸術活動	生徒	授業を通して、三つの芸術を学べている。	2.9	
				保護者	三つの芸術をリンクした学びが、教育の中に具現化できている。	3.2	
				教職員	三つの芸術をリンクした学びが、教育の中に具現化できている。	2.3	
		01-C	生活即教育	生徒	毎日の生活の中から自分が成長できていると思う。	3.3	
				保護者	建学の精神のもと、生徒たちは生活から学びができています。	3.0	
				教職員	建学の精神のもと、生徒たちは生活から学びができています。	2.1	
		01-D	充実した授業	生徒	学校の授業はわかりやすい。	2.7	
				保護者	学校では、わかりやすい授業がなされている。	2.8	
				教職員	教員室は授業力向上に努めている。	2.6	
		01-E	学力成長の把握	生徒	自分の学力がどれだけ身についたか、よくわかっている。	2.8	
				保護者	学校には、生徒の学力の向上が把握できるシステムがある。	2.9	
				教職員	生徒の学力の向上が把握できるシステムがある。	2.0	
		01-F	体力成長の把握	生徒	自分の体力がどれだけ身についたか、よくわかっている。	2.8	
				保護者	学校には、生徒の体力の向上が把握できるシステムがある。	2.9	
				教職員	生徒の体力の向上が把握できるシステムがある。	2.0	
2	組織運営 (管理職)	02-A	適切な組織運営	生徒	学校では、場面に応じてだれに何を尋ねたらよいかわかりやすい。	2.8	
				保護者	学校は、組織的な運営ができています。	2.7	
				教職員	学校は適切な分掌・組織作りがなされている。	1.8	
		02-B	開かれた組織	生徒			
				保護者	学校は意見などが自由に言いやすい雰囲気である。	2.8	
				教職員	学校は意見などが自由に言いやすい雰囲気である。	2.2	
02-C	情報管理	生徒					
		保護者	学校の情報は適切に管理されている。	3.3			
		教職員	学校の情報は適切に管理されている。	2.1			
3	研修 (研修)	03-A	教員の研究意欲	生徒	先生は熱心に教えてくれる。	3.0	
				保護者	教員は熱心に指導している。	3.2	
				教職員	教員室は、自ら課題を持ち、積極的に研修・研鑽に励んでいる。	2.5	
		03-B	研修	生徒			
				保護者			
				教職員	教員研修は、系統的かつ計画的に実施されている。	2.4	
03-C	研修の効果検証	生徒	授業は工夫が多く、丁寧であると思う。	2.6			
		保護者	学校の授業は、工夫がありわかりやすい。	2.9			
		教職員	教員研修の成果は、十分にあらわれている。	2.2			
4	施設・設備 (管理室)	04-A	充実した設備	生徒	学校の施設は使いやすい	3.1	
				保護者	教育を実現するための施設・設備は十分である。	3.5	
				教職員	教育を実現するための施設・設備は十分である。	2.3	
		04-B	設備の活用	生徒	学校の施設の利用の仕方は、よくわかっている。	3.2	
				保護者	本校の施設・設備は有効に活用されている。	3.1	
				教職員	本校の施設・設備は有効に活用されている。	2.6	
04-C	設備の安全性	生徒	学校内の施設は安全に使用できると思う。	3.3			
		保護者	施設・設備は十分点検され、安全に保たれている。	3.4			
		教職員	施設・設備は十分点検され、安全に保たれている。	3.1			
5	安全管理 (研修・管理室)	05-A	防災訓練	生徒	防災訓練や防災教育は十分だと思う。	3.1	
				保護者	防災計画を策定し、定期的に研修・訓練を実施できている。	3.3	
				教職員	防災計画を策定し、定期的に研修・訓練を実施できている。	3.2	
		05-B	危機管理の浸透	生徒	危険なことがあった場合、どのように行動したらよいかわかっている。	3.1	
				保護者	学校の危機管理に対する取り組みは十分である。	3.1	
				教職員	危機管理マニュアルを策定し、学校全体に共有・徹底している。	2.7	
05-C	安全な施設	生徒	学校内には危険な場所はなく、安全である。	2.9			
		保護者	校内には危険なまま放置されている箇所はない。	3.4			
		教職員	校内には危険なまま放置されている箇所はない。	3.1			
6	保健管理 (環境美化)	06-A	清潔性	生徒	学校の中は清潔だと思う。	2.8	
				保護者	校内は、常に清潔・衛生的に保たれている。	3.3	
				教職員	校内は、常に清潔・衛生的に保たれている。	2.8	
		06-B	体調不良に対する対応	生徒	先生方は体調が悪いときは、すぐに対応してくれる。	3.0	
				保護者	体調の悪い生徒に対する対応は適切である。	3.1	
				教職員	体調の悪い生徒に対する対応は適切である。	2.6	
06-C	心の健全性	生徒	何でも相談できる先生や職員がいる。	2.6			
		保護者	生徒の心のケアは十分である。	2.9			
		教職員	生徒の心のケアは十分である。	2.1			
7	生徒指導 (生徒指導)	07-A	生徒指導の充実	生徒	学校内で何か問題があったとき、先生はきっちり指導してくれる。	2.7	
				保護者	生徒の問題行動への指導・対応は十分である。	3.0	
				教職員	生徒の問題行動への指導・対応は十分である。	2.2	
		07-B	生徒会・委員会・部活動	生徒	生徒会・委員会・部活動は十分にできている。	2.8	
				保護者	生徒会・委員会・部活動は十分活動できている。	2.9	
				教職員	生徒会・委員会・部活動は十分活動できている。	2.2	
07-C	生徒指導の充実	生徒					
		保護者	生徒指導は適切になされている。	2.9			
		教職員	生徒指導は適切になされている。	2.3			
8	(独自項目)生徒の福利厚生 (自労自治・寮務室)	08-A	寮の施設の充実	生徒	寮は生活するのに快適な環境である。	2.9	
				保護者	寮は生活するのに快適な環境が整っている。	3.1	
				教職員	寮は生活するのに快適な環境が整っている。	2.8	
		08-B	寮生活の規律性	生徒	寮生活から、順序・礼節・作法など、生活に大切なことを学んでいる。	3.0	
				保護者	生徒は寮生活から、順序・礼節・作法など、生活に大切なことを学んでいる。	3.0	
				教職員	生徒は寮生活から、順序・礼節・作法など、生活に大切なことを学んでいる。	2.0	
08-C	寮での生活即教育	生徒	寮生活を通じて、規則正しい生活が身についてきた。	3.0			
		保護者	生徒は寮生活を通じて、規則正しい生活が身についてきた。	3.1			
		教職員	生徒は寮生活を通じて、規則正しい生活が身についてきた。	2.1			

9	進路指導 (進路指導)	09-A	進路指導体制	生徒	進路や将来に関して、相談しやすい先生・職員がいる。	2.7	
				保護者	進路指導の体制・環境は十分整っている。	2.8	
				教職員	進路指導の体制・環境は十分整っている。	2.5	
		09-B	進路指導の実行	生徒	進路指導には満足している。	2.6	
				保護者	進路指導は十分なされている。	2.7	
				教職員	進路指導は十分なされている。	2.7	
10	保護者・地域住民との連携 (MIA担当)	10-A	保護者とのコミュニケーション	生徒	先生方は家とよく連絡を取ってくれている。	2.6	
				保護者	学校と十分なコミュニケーションが取れている。	2.7	
				教職員	保護者と十分なコミュニケーションが取れている。	2.2	
		10-B	地域との交流	生徒	地域の行事に参加する機会がある。	3.3	
				保護者	学校は、地域行事などに積極的に参加し、地域との連携を図っている。	3.4	
				教職員	学校は、地域行事などに積極的に参加し、地域との連携を図っている。	3.0	
		10-C	地域の理解の深化	生徒			
				保護者	学校は地域の方々を受け入れ、地域に理解されるように努めている。	3.4	
				教職員	学校は地域の方々を受け入れ、地域に理解されるように努めている。	2.9	
11	(独自項目)人権教育 (人権)	11-A	人権教育	生徒			
				保護者			
				教職員	本校では、人権について十分な教育がなされている。	2.9	
		11-B	人権の保障	生徒	学校にはいじめや差別はない。	2.7	
保護者	学校においては人権は十分守られている。			3.3			
教職員	本校においては人権は十分守られている。			2.6			
12	特別支援教育 (特別支援)	12-A	特別支援体制の充実	生徒			
				保護者			
				教職員	本校では、特別支援が必要な生徒の対応が十分なされている。	2.2	
		12-B	特別支援の理解	生徒			
				保護者			
				教職員	本校は、特別支援教育について、十分な研修がある。	1.9	
13	(独自項目)図書管理および学術情報 (図書)	13-A	書籍数	生徒	図書館の本の量は十分であると思う。	2.9	
				保護者	図書館には生徒の学習に必要な十分な量の図書がある。	3.1	
				教職員	図書館には生徒の学習に必要な十分な量の図書がある。	2.7	
		13-B	学術情報の充実	生徒	学校は調べ学習などがしやすいと思う。	2.7	
				保護者	学校には、十分な学術情報がある。	2.9	
				教職員	本校では、教育上必要な十分な量の学術情報が入手できる。	2.4	
14	(独自項目)食育 (食育)	14-A	食の安全	生徒	学校の食事は安全で衛生的だと思う。	2.9	
				保護者	学校の食事は安全で衛生的である。	3.5	
				教職員	学校の食事は安全で衛生的である。	3.2	
		14-B	食育(マナー)	生徒	正しいマナーで食事ができるようになった。	3.0	
				保護者	生徒は正しいマナーで食事ができている。	3.1	
				教職員	生徒は正しいマナーで食事ができている。	2.2	
		14-C	食育(基礎知識)	生徒	食事作りや食のことで通して、いろいろ勉強できる。	3.0	
				保護者	学校では、食に関する教育が十分なされている。	3.2	
				教職員	本校では、食に関する教育が十分なされている。	2.7	
15	(独自項目)国際交流 (国際交流)	15-A	国際交流の機会	生徒	学校では、国際交流の機会が多い。	3.0	
				保護者	学校には、国際交流について十分な機会がある。	3.4	
				教職員	本校では、国際交流について十分な機会がある。	2.9	
		15-B	国際理解	生徒	学校では、世界のことについて学ぶ機会がある。	2.9	
				保護者	学校には、生徒が国際関係などの情報を得たり、学んだりする十分な機会がある。	3.3	
				教職員	本校では、生徒が国際関係などの情報を得たり、学んだりする十分な機会がある。	2.9	
*	その他項目(日常生活)	教務	学校生活	生徒	学校生活は楽しい。	3.0	
			学校生活	保護者	生徒は学校生活を楽んでいる。	3.2	
		生徒指導	あいさつ	生徒	あいさつはできている。	3.1	
			あいさつ	保護者	生徒はあいさつがよくできている。	3.0	
		環境美化	清掃	生徒	毎日の掃除はちゃんとできている。	2.8	
		食育	食事作り	生徒	食事作りができるようになった。	3.3	
			思いやりの心	生徒	他人を思いやる心が強くなった。	3.3	
		生徒指導	思いやりの心	保護者	生徒は、他人を思いやる心が育っている。	3.3	
			提出物	生徒	提出物を出している。	3.0	
		教科・担任	感謝	生徒	感謝することが多くなった。	3.2	
			感謝	保護者	生徒は、感謝の心が育っている。	3.1	
		生徒指導	協調性	生徒	他の生徒と協調できるようになった。	3.1	
			整理整頓	生徒	整理整頓ができるようになった。	3.2	
		環境美化	整理整頓	保護者	生徒は、整理整頓ができるようになった。	2.9	
			公平性	生徒	誰とも公平に接することができるようになった。	3.1	
		管理職	時間厳守	生徒	時間を守れるようになった。	3.0	
			時間厳守	保護者	生徒は、時間を守れている。	3.0	
		生徒指導	み教えの実行	生徒	み教えを実行できるようになった。	2.9	
			み教えの実行	保護者	生徒は、み教えの実行ができるようになってきた。	2.8	
		管理職	雰囲気	生徒	教室は何でも言える雰囲気である。	3.0	
			相談相手	生徒	相談できる友人がいる。	3.2	
		管理職	相談相手	保護者	生徒には、相談できる友人や大人がいる。	3.1	
			忘れ物	生徒	忘れ物をしなくなった。	2.7	
		教科・担任	責任感	生徒	自分は責任感があると思う。	2.9	
			利他愛	生徒	自分は他人の幸せを祈れるようになった。	3.2	
		管理職	客観性の獲得	生徒	自分を客観的に見られるようになった。	3.0	
			客観性の獲得	保護者	生徒は自分を客観的に見ることができている。	3.0	